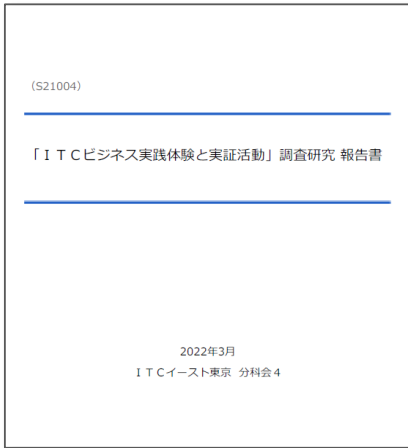


テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日: 2022年 3月 28日

<p>テーマ名</p>	<p>ITCビジネス実践体験と実証活動(S21004)</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>ITCイースト東京 分科会4</p>	
<p>成果物公開URL</p>		
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名)米津 博之 電話番号:090-3961-7617 e-mail:hiroyon@bb.em-net.ne.jp</p>	<p>(担当者氏名)分科会4事務局 電話番号: e-mail: itc-east-tokyo-sig4-info@googlegroups.com</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>●成果概要: (1)活動-1:中小企業が抱える問題(困りごと)を収集し、その解決策を自ら考えるために、中小企業へのコンサルティングを机上体験した結果、次のような成果が得られた。 ①「問題」「課題」等、何に着目し、何をコンサルするか整理でき、顧客に有効な提案ができた。 ②中小企業の問題の考察に、自社の問題を照らし合わせることも有効で、これなら企業内ITCでも取り組める。 ③他メンバーの取り組みの事例の共有は、リアル感があり将来に向けて参考になる内容で、今後の活動に活かそうだと実感できた。 ④企業支援の現場でのコンサルティングのヒントをもたらししてくれた。また、今後数を増やしていきたい。</p> <p>(2)活動-2:ITCビジネス実践体験と、そのための準備活動についてITC活動案件創出の事例研究を行った結果、次のような成果が得られた。 ①自分が当事者となった場合を想定したシミュレーションができた。 ②自分の経験していない 案件創出方法事例に触れ、体系的に整理でき、気づきを得ることができた。 ③人脈による案件紹介が非常に有効である。日ごろから人とのつながりを大事にすることが重要。 ④案件創出活動に色々方法があることが分かり、知見が広がった。</p> <p>(3)活動-3:ITC活動のためのセミナー講師体験を実践した結果、次のような成果が得られた。 ①講師自らの得意領域をテーマにした内容での実践により、講師経験の積み重ねができた。 ②中小企業の支援に関するテーマを主体にした内容での、講師経験の積み重ねができた。</p> <p>(4)活動の総括:分科会4は「ITCビジネスを実践したい会員ITCが実践的な研鑽をできる場作りとメンバー自らの実践的な研鑽」をミッションとして、この活動を継続的なものにするために、2020年度から以下の4つの柱と、ミッションに向けたその運営方針を明確に描いて動き始め、前述のような成果を輩出することができた。 2022年度もこれをさらに磨いて、より高めていきたい。</p>	
<p>成果物</p>	<p>ITCビジネス実践体験と実証活動 調査研究 報告書</p> 	

* 青字は事務局で記入します。

<p>事務局受付日</p>	<p>2022/3/28</p>
<p>案件番号</p>	<p>S21004</p>